

新駅周辺も、まち全体も**利便性が**

箕面 船場阪大前駅

新たな「文化とビジネスの拠点」として、北大阪急行線延伸に伴い新設される箕面船場阪大前駅周辺のまちづくりを進めています。

駅北側出入口

新船場北橋の東側に出入口ができます。

箕面船場阪大前駅

地下駅で、地下3階がプラットフォームです。また、駅舎には、機械式の駐輪場を整備します。

歩行者デッキ

新御堂筋をまたぐ幅6m程度の歩行者デッキを設置し、西側からの利用者の利便性を確保します。

駅南側メイン出入口

歩行者デッキに接続し、船場の玄関口となります。

駅前広場

芝生のある駅前広場は、気軽にイベントにも利用できます。

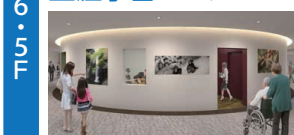
地上6階、地下1階の複合公共施設



※各施設の名称は仮称です。

文化ホール、図書館、生涯学習センター、駐車場が一体となった複合公共施設の設計業務に着手。今後、平成31年度からの着工、平成33年4月のオープンをめざします。

生涯学習センター

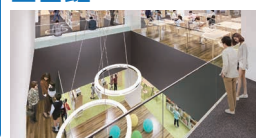


文化ホール

- 大ホール (1401席)
- 小ホール (300席)



図書館



駐車場

- 普通車116台
- 自動二輪車86台



大阪大学箕面キャンパス

平成33年4月の開校に向けて、大阪大学が校舎及び学生寮を整備します。

メインデッキ (地区内デッキ)

駅前の施設にアクセスするメインストリートを設置。デッキの下には駐輪場を整備します。

箕面 萱野駅

箕面萱野駅は2階建てで、2階がプラットフォームになり、かやの中央の賑わいの中に接続します。

集客力のある施設を整備!

バス乗り場の上空を立体利用して「子育て」を核とした新しい施設を作り、まちの魅力をいっそう引き出します。



バスターミナル・タクシー乗り場・駐輪場を整備!

新たにバスターミナルやタクシー乗り場、地下駐輪場を整備します。さらに、バス路線の再編により新駅を中心とする充実した市内交通となります。

鉄道延伸後も、萱野地域の豊かな田園風景を守り育てます!

新駅ができる萱野地域は、市街地に貴重な農地が残る緑豊かなエリアです。箕面市では、鉄道延伸後も、山なみとまちなかの緑を大切にしてきた箕面を象徴するまちとして、この萱野地域の「身近な緑」を守り育てていく方針です。

新しい都市計画道路を整備!

周辺の交通渋滞や住宅地の通り抜けなどを抑制するため、萱野東西線及び芝如意谷線の整備をします。



アップ!

バス路線が再編され、東西の移動がスムーズに!

バス路線は主に「駅と駅」「住宅街と駅」を結ぶため、延伸により新駅を中心にルートが再編されます。市街地の真ん中に駅ができることにより、東西方向の移動利便性が格段に良くなります。

延伸によるバス路線再編のイメージ

現在

千里中央駅・北千里駅を中心とした現在のバスルート



再編後

新駅を中心とした市内交通が充実したバスルート



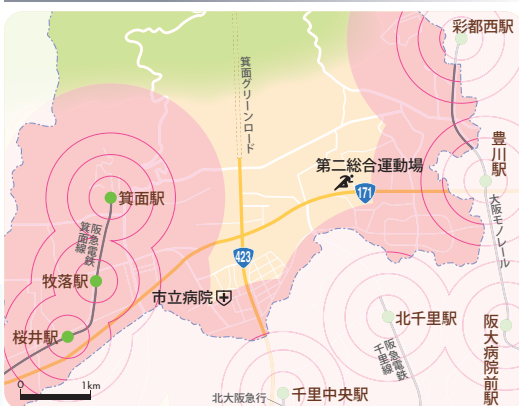
※再編ルートは社会実験を経て決定

駅まで 徒歩／自転車 自転車圏が増える!

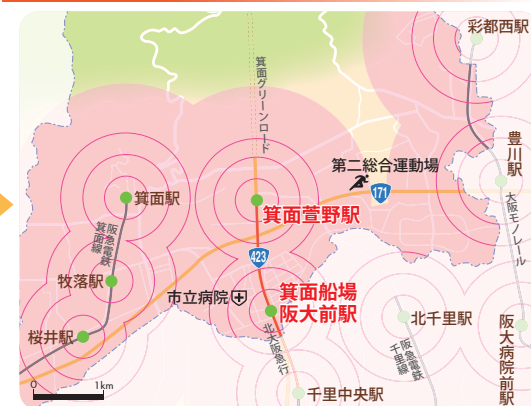
延伸により、市街地の真ん中に駅が2つできて、駅まで徒歩・自転車で行けるエリアが大幅に増え、市街地の大部分が「駅まで徒歩・自転車圏」になります。

延伸による徒歩・自転車圏の広がりイメージ

これまで



延伸後は



※歩行速度3.6km/h、自転車速度10.5km/hで計算
(国土交通省費用便益分析マニュアルによる)



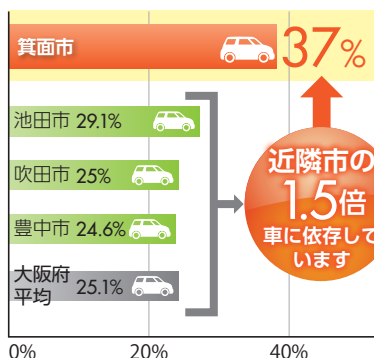
箕面市は自動車依存度が近隣市の1.5倍

箕面市は、市街地が東西に細長いのに鉄道が西部地域にしかなく、東西方向の移動も不便なため、自動車依存度が近隣市に比べて高くなっています。

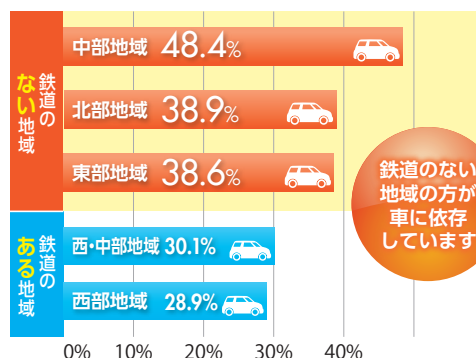
鉄道延伸で、高齢になっても暮らしやすいまちへ

鉄道とバスの両方が便利になることで自動車への依存度が下がり、高齢のかたも、子どもたちも、誰もが安全で暮らしやすいまちになっていきます。

■近隣市との自動車依存度の比較



■箕面市内の地域別自動車依存度



鉄道のない地域の方が車に依存しています